



新年に寄せて

県南教育事務所長
佐藤 賢信

昨年中は、県南教育事務所の諸事業に対し、ご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。

令和8年が幕を開け、今年度も残り3月となりました。RPDCAのマネジメントサイクルは機能していますか。組織目標の達成に向けて、これまでにどのような成果をあげることができたのか。その主たる要因は何なのか。新たに明らかになった課題は何なのか。そして、目標達成のために、残り3月で何をすればよいのか等、目標が達成された時の子どもたちの具体的な姿を思い浮かべながら、「省察」してみてください。きっと今後の具体的な取組がイメージでき、活力が湧いてくると思います。

また、現学習指導要領は2030年の社会を見据えた内容になっています。あと5年です。私たちも2030年、あるいはそれ以降の社会をしっかりと見据え、理解し、今を生きる子どもたちが未来を切り開いていく力を育てていかなければなりません。そして教職員には、困難な時代であっても生きがいのある時代に、やりがいのある時代へと拓いていくことが求められてくることでしょう。いよいよ目の前に迫った新たな時代を迎えるにあたり、実効性のある取組を積み重ねていかねばと、思いを強くしているところです。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



人事課

★笑顔いっぱいの学校を目指して★

☆ 令和7年度優秀教職員・若手教職員等奨励賞表彰状伝達式を行いました ☆

茨南だよりNo.8(12月号)でお知らせしました「優秀教職員・若手教職員等奨励賞」の表彰状伝達式を行いました。3名の先生方、改めておめでとうございます。

学校は、校長を中心とする様々な立場から児童生徒の成長を支える職員によって構成されています。今回表彰された「栄養教諭」や「英語スペシャリスト教員」は全校に配置されているわけではありません。そのため、複数の学校に出向き、より多くの児童生徒の成長に関わっています。今回の表彰をきっかけに、多くの先生方に栄養教諭や英語スペシャリスト教員、さらには事務職員の仕事を理解していただけることを期待しています。

美浦村教育委員会
若林 功 指導室長稲敷市立江戸崎小学校
飯塚 敏 校長石岡市立八郷中学校
中里 憲一 校長稲敷市立江戸崎小学校
本採講師(英語スペシャリスト)
SHAW KANE DEREK 先生
(シャー・ケイン・デレク)県南教育事務所
佐藤 賢信 所長美浦村立美浦中学校
板橋 智子 係長石岡市立八郷中学校
栄養教諭
米田 佳美 先生

総務課

給与改定について

令和7年12月15日に県議会において職員の給与に関する条例の一部を改正する条例が可決され、月例給は4月に遡り、また一般職員の12月期末及び勤勉手当の率は従前と比べて0.025月分それぞれ引上げとなりました。その差額は令和7年12月25日(木)に支給されていますので、確認をお願いいたします。



1月から3月は今年度のまとめと、次年度へのステップとなる重要な時期です。

以下の点について、各校での共通理解と積極的な活用をお願いいたします。

○ 県学力診断のためのテストとRPDCAサイクルの「C（評価）」

1月15日（木）・16日（金）に「県学力診断のためのテスト」が実施されます。このテストは、児童生徒の学習の定着状況を把握するだけでなく、今年度の指導計画や授業改善の成果を検証する絶好の機会です。

今年度のRPDCAサイクルの「C（評価）」として位置付け、結果の分析を通して、「成果が出た指導法」と「課題が残る単元」を明確にし、児童生徒への補充指導をするとともに、次年度の計画へつなげていただきますようお願いいたします。なお、S-P表作成ツール（Ver.2）を先日配付（令和7年12月16日付け事務連絡）しました。テスト結果を入力することで、児童生徒のつまずきや、問題ごとの正答傾向が可視化されます。「どの児童生徒に手立てが必要か」「どの問題の指導を工夫すべきか」といった具体的な授業改善にお役立てください。

○ 算数科指導力向上臨時研修会のオンデマンド活用

10月29日に実施いたしました「算数科指導力向上臨時研修会」を受け、各校で熱心な情報共有や授業実践が行われているとの報告を多数いただいております。この研修の様子をまとめたオンデマンド動画を教育情報ネットワークポータルシステム上（15_県南教育事務所>算数科指導力臨時研修会）に掲載しております。校内研修での振り返りや、個人の教材研究の時間に視聴するなど、効果的にご活用ください。

残り3月学校教育課も支援助言に尽力してまいります。よろしくお願ひいたします。

市町村教育委員会紹介



土浦市教育委員会

指導課の機構改革！ 教育DX推進室 始動！

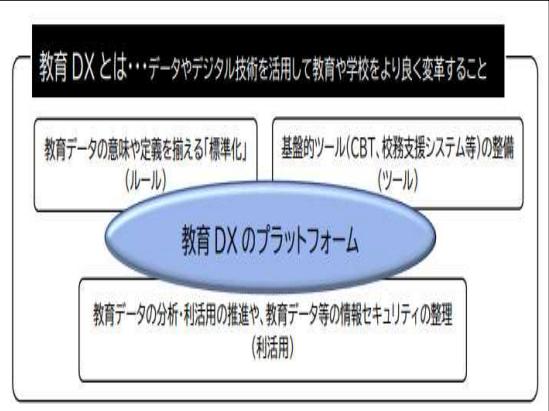
指導課では、令和7年度より機構改革を行い、時代の変化に対応できる教育を推進するため、「教育支援係」と「教育DX推進室」を設置しました。「教育支援係」では、主に学力向上や特別支援教育の充実を図る取組を進めていますが、「教育DX推進室」は、時代のニーズに応じた新設の組織として始動しました。

推進室には事務職員2名と指導主事1名を配置し、児童生徒の学びの充実を目的に、従来、別々の部署で進められていたICT機器整備（ハード面）と、指導・研修（ソフト面）の施策を統合し、一元的に推進しています。これにより、個別最適な学びと協働的な学びを充実させ、情報活用能力の育成や主体的・対話的で深い学びを支える環境整備を進めています。これにより、児童生徒が情報社会を主体的に生き抜く力を育むとともに、教育現場の働き方改革にも寄与できるよう取り組んでいます。現在は、学校教育の情報化を総合的・計画的に推進するための指針として、「第3期土浦市教育情報化計画」の策定を進めています。また、デジタルの教科書やドリルの積極的な活用を通して、「わかる」授業の構築にも力を入れています。

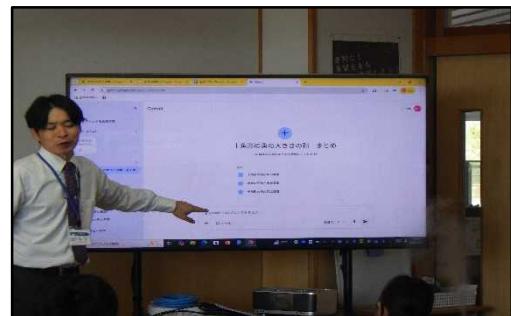
「教育支援係」と「教育DX推進室」の連携を密にして、誰一人取り残すことなく、質の高い学びの実現に向けて、学校現場をしっかりとサポートしてまいります。



2026年も土浦市を
どうぞよろしくお願ひします！



教育DXのプラットフォーム



生成AIを活用した授業